



『あんぜんな職場創り』を目指すために

1. 安全な職場環境への取り組み

◎KY活動(危険予知)として

- 11時、17時の1日2回、店長・役職者が店舗内を巡視し、チェック表を基に安全確認を実施。

2. 労働災害防止への取り組み

- 切傷 保護具として、フィンガーガードを導入。
- 火傷 布製のミトンを、シリコン樹脂素材に変更。
- 転倒 靴が滑り難い状態を保つ為、靴底ブラシを導入。
併せて、靴底裏面の摩耗状態を確認する、掲示物を導入。

3. 危険個所の見える化について

- 労働災害発生のおそれのある箇所を、ハザードマップとして掲示。
- 全従業員が、危険個所を共有する事で、労働災害防止への意識向上を図る。

新規雇入れ時は、「何故、危険なのか?」「何故、労働災害が起きるのか?」

「何が原因なのか?」を、店内ツアーを通して、危険個所への共通認識を図る

事で、労働災害防止の初期教育を実施。

4. その他の取り組み

- 安全衛生に関する動画を作成し、店舗端末(PC・タブレット)で自由に視聴可能な教材を導入。